

研究主題 **豊かに生きる力の育成**
～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 単元名 「あしたへつなぐ 自分たんけん」

2 単元の目標

自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことを支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

低学年の基礎的汎用的能力（夢4）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と関わる力  【人間関係形成・社会形成能力】	・自分の思いを友達に伝える力	①自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。	①友達の頑張っていることや成長に気づき、それを伝えている。	①自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、伝えようとしている。
自分をみつめる力  【自己理解・自己管理能力】	・周りからよいところを教えてもらい、自分のよさに気付く力	②自分が大きくなったこと、役割が増えたことなどが分かっている。 ③自分自身の良さや可能性に気付いている。	②過去の自分と現在の自分を比べながら、自分の成長を捉えている。	②自分のことをもっと知りたいという思いをもって、自分の成長を振り返ろうとしている。
課題をやりぬく力  【課題対応能力】	・自分のめあてをもって実行する力		③具体的な手掛かりを見付けながら、過去の自分自身や出来事を振り返っている。	③成長を振り返るために、手がかりを見付けたり集めたりして意欲をもって調べようとしている。
次につなげる力  【キャリアプランニング能力】	・自分の課題に気づき、次に生かそうとする力		④3年生の生活でやりたいことやがんばりたいことを考えている。 ⑤自分の成長への願いを持ち、これからの生活について表現している。	④これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、意欲的に生活しようとしている。

※キャリア教育と関連が密接なものは**ゴシック体・太字**

4 部会提案

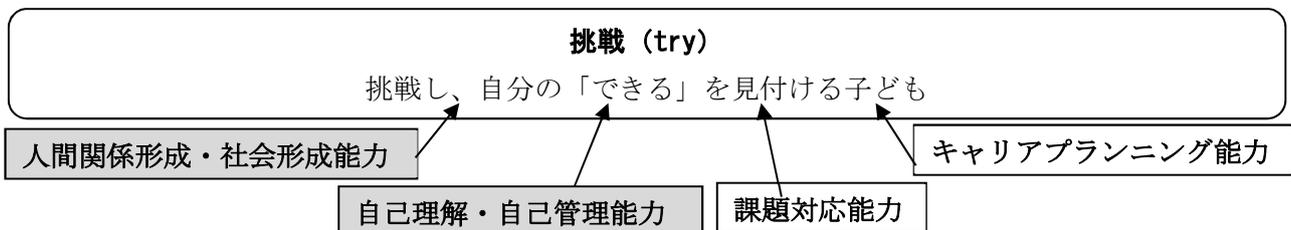
(1) 児童の実態と単元観

第2学年の3学期になり、1学期の頃よりも落ち着いて学習活動に取り組めるようになった。帰りの会で友達の良さを発表する時間には、友達が頑張っていたところや優しくしてもらって嬉しかったことなど、様々な良いところを発表している。しかし、発言をする児童が限られてしまっているため、みんなが友達の良さを見付けられるようにしていく必要があると考える。

本単元では、自分の成長を振り返るときに、友達や保護者から見た成長の様子を聞く活動を取り入れている。そうすることで、自分で気付いていなかった自分の良さや、心情面での成長に気づき、自己肯定感が高まったり、相手の良さを見付けられたりできるようになると考える。また、友達の成長に関心をもったり、お世話になった人たちの存在に気付いたりできるようになると考える。

キャリア教育の視点では、この単元を通して特に「自己理解・自己管理能力」を育てていきたい。そのために、本単元では、自分自身の良さや可能性に気づき、これからも成長できることが分かり、3年生でも意欲的に生活しようとする力を伸ばしたい。また、友達の頑張りを見付け、伝え合う活動を通して、自分自身の気付かなかった良さや成長に気付くとともに、友達の良さや成長に気づき、これからもよりよく関わろうとする「人間関係形成・社会形成能力」を育てていきたい。

(2) 低学年の目指す児童像と本単元で重要となる基礎的・汎用的能力



(3) 目指す児童像を実現するための手だてと関連する夢4

<p>【手だて1】: 意欲的に活動しようとする主体性を引き出すために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の思いや願いを大切にされた単元計画の工夫 教師が学習活動を一方的に決めるのではなく、児童の思いや願いを基に活動計画を取り入れることで、児童一人一人の「やってみたい」という主体性をもたせる。 ○ 3年生との交流活動を取り入れる 2年生の終わりが見えてくると、いよいよ3年生になるという意識が芽生えてくる。「もうすぐ3年生になる」という期待をエネルギーに3年生の様子を聞きに行く活動を設定することで、進級への期待を高め、これからも意欲的に活動しようとする思いにつながる。 	<p>【夢4】</p> 
<p>【手だて2】: 自分の良さや成長に気付かせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 星カードや生活科ノートの活用 教室に掲示されている星カードや生活科ノートの振り返りには1年間の学習活動での自分の成長が記されている。それを自分自身の成長に気付かせる資料とするとともに、それ以外にも自分ができるようになったことがないかを考えることができる。 ○ 友達の頑張りを見付け、伝える活動を設定 友達のがんばりを見付け、伝える活動を設定することで、友達から自分の良さや成長を伝えてもらい、自分自身の気付かなかった良さや成長に気付けるようにする。また、友達の良さや成長を考えることで、友達の良さや成長に気づき、これからもよりよく関わろうとする思いにもつなげる。 	<p>【夢4】</p>  

5 指導計画 (全 26 時間)

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
学習課題をつかむ	1	明日へつなが自分たんけん～学習の見通しをもとう～	<ul style="list-style-type: none"> ○今の自分の頑張っているところやできるようになったことを振り返る。 ○今の自分から前(過去)とこれから(未来)はつながっていることを知り、「どのように成長してきたか。」「これからどうなりたいか。」を学習していくことを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「<u>夢4ファイル</u>」の振り返りから、<u>児童一人一人がどんなことができるようになったと感じているかを想定しておく。</u> ◆今・過去・未来を時系列で確かめることで、これからの学習の見通しをもたせる。 	<p>【主②】</p> 
見つめる	2 3 4 5 6	「今」の自分を見つめよう～大きくなった自分について考えよう～	<ul style="list-style-type: none"> ○以前と比較してできるようになったことや得意になったことを考え、今の自分はどんな自分なのかを表現する。(入学してから現在まで) ○友達の良いところや成長したところを考え、カードなどに書いて伝え合う。 ○学校や家庭でどんな立場を担ってきたのか、以前と変わったことはないかを考え、伝え合う。 ○できるようになったことがどのくらいあるのかを考え、気付いたことを自分なりの方法で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆行事の記録写真をスライド資料で見せたり、生活科カード、夢4ファイルを見せたりして、頑張ってきた気持ちでいっぱいになるような環境を作る。 ◆一人一人のまとめ方の差をなくすために、紙に貼って巻物形式でまとめていく。 ◆<u>友達の頑張りを見付け、伝える活動を設定することで自分自身の良さに気付き、自身の見方を広げるきっかけを作る。</u> ◆<u>家族や周りの人から成長したことをカードに書いてもらうことで、自分の成長にはたくさんの人が関わり、応援していることに気付かせる。</u> 	<p>【思・判・表②】 【知・技②】</p> 

7 8 9 10	「過去」の自分にタイムトリップ！～周りの人に聞いて、自分の成長をまとめよう～	<p>○生まれたばかりの頃の自分の身体的な大きさを知る。</p> <p>○家族やお世話になった身近な人に自分の小さい頃（就学前）のことを取材し、聞いたことを交流する。</p> <p>○集めた情報を基に、自分の成長をまとめる。</p> <p>○中間発表会を行い、まとめ方の工夫に気付かせる。</p>	<p>◆<u>養護教諭と連携して授業を行う。生まれたばかりの様子について知ることで、小さかった頃の自分の様子に関心をもたせる。</u></p> <p>◆<u>様々な家庭環境を考慮して、就学前のどの時点を調べるかは子どもに決めさせる。また、取材する人は家族だけでなく、お世話になった身近な人でもよいこととする。</u></p> <p>◆<u>一人一人、まとめ方の工夫ができるように何種類かのワークシートを準備する。</u></p> <p>◆<u>中間発表会を設定したり、作業の時間差を利用して交流の時間を設けたりして、まとめ方の工夫に気付かせる。</u></p>	<p>【主③】</p> <p>【思・判・表③】</p> 
11 (本時) 12 13 14 15 16	「過去」の自分にタイムトリップ！～自分の成長を振り返ろう～	<p>○自分の成長をまとめたものを交流し、感想を伝え合う。</p> <p>○誰がどのように成長を支えてくれたか考え、友達と自分の成長を伝え合いながら、互いに認め合い、喜びを味わう。</p> <p>○今までお世話になった方々を振り返り、「ありがとう大作戦」を計画・実践する。</p>	<p>◆<u>発表・交流後は一人一人発表した児童へ感想を書き、思ったことや感じたことを伝え合うことで、友達の良さや成長に気付かせ、よりよく関わろうとする思いにつながる。</u></p> <p>◆<u>多くの方の支えがあった成長できたことに気付けるように、「自分がここまで大きく成長できたのは、どんな方の支えがあったか」と問い掛け、ウェブマップ形式でまとめる。</u></p> <p>◆<u>お世話になった方、それぞれに合った感謝の気持ちの表し方ができるように、グループで話し合いをして計画を立てさせる。</u></p>	<p>【知・技①】</p>  <p>【思・判・表①】</p>  <p>【主①】</p> 

広げる	17 18 19 20 21 22 23	「未来」の自分をのぞいてみよう！～3年生になったら～	<p>○3年生の教室に行き、3年生の生活について話を聞いたり、学習の様子を実際に見せてもらったりする。</p> <p>○3年生がどんなことをしていたか、どんなふうに見えたか、3年生でやってみたいことなどを発表し合う。</p>	<p>◆「もうすぐ3年生だけど、今とどんなところが違うのでしょうか。」と問いかけ、今との違いを比べたり、3年生へ向けての期待を膨らませたりしながら見学できるようにする。</p> <p>◆3年生への取材の後、気付いたことや見付けたことを交流し、どんなことが楽しいかという心情的な交流も行う。</p>	<p>【思・判・表④】</p> 
	24 25 26	明日へつなが自分たんけん～これからの自分を考えよう～	<p>○これまでの自分を振り返るとともに、自分がなりたい3年生の姿を考えてワークシートにまとめる。</p> <p>○「明日へつなが自分たんけん」集会を行い、自分の目指すなりたい3年生の姿を伝え合う。</p>	<p>◆学級活動「2年生のわたし」の振り返りと関連させて、「自分がなりたい3年生の姿」を考えさせる。</p> <p>◆「自分の目指すなりたい3年生の姿」の決意表明を行わせるために、集会活動を取り入れる。</p>	<p>【知・技③】</p>  <p>【思・判・表⑤】</p> <p>【主④】</p> 

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習 (26 時間扱いの 11 時間目)

(1) 本時の目標

成長巻物の交流や感想を伝え合うことを通して、友達の頑張っているところや成長に気づき、それを伝えることができる。

(2) キャリア教育の重点

◎友達の成長巻物を読んで、友達が頑張ったところや成長したところを見付け伝える活動を通して、自分の思いを友達に伝える力を育む。【人間関係形成・社会形成能力】

(3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 10分	1 前時の活動を振り返り、今までの自分はどうな自分だったかを (入学してから現在まで) 振り返る。 	【全体】 ・前時でまとめた成長マップ	○これまで成長したことが一目で分かるように、成長巻物を掲示する。 ○「成長を巻物にまとめたけれど、この後どうしていきたいか。」と問いかけ、本時のめあてにつなげる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">友達の頑張っているところや成長したところを見付けて伝え合おう。</div>			
展開 25分	3 友達の成長をまとめた巻物を読む。 4 友達の頑張っているところや成長したところをカードに書いて伝える。 ・私は、早起きが苦手だけれど、○○さんは、早く起きられるようになって素敵だね。 ・私も野菜が苦手だから、その気持ちが分かるよ。給食を残さないようにしていてすごいね。 ・私は、まわりに声を掛けることが苦手だけれど、○○さんは、自分から挨拶をされていて素敵だね。私もやってみたくなった。	【個人】 ・カード	○学習の流れを提示し、今何をする時間か、どのくらいの時間で行うか見直しをもたせる。 ○成長巻物を読んで、友達が一番頑張ったところや成長したところとなぜそう思ったのかという訳をカードに書かせる。そうすることで、カードをもらった児童が自分の頑張りや成長に気付けるようにする。 ○感想を書くことが難しい児童には、友達の良かったところや成長したところを表現しやすいように、型を提示する。 ●友達の頑張っているところや成長に気づき、それを伝えている。【思・判・表①】 
まとめ 10分	5 本時の振り返りを行う。 ・漢字を丁寧に書けるようになったことを友達が褒めてくれて嬉しかった。これからも丁寧に書けるように意識していきたい。 ・野菜が食べられるようになったことは、そんなにすごいなと思っていただけ、友達からすごいねと言われて、嬉しかった。 ・友達から「二重とびを跳べるように頑張ったことがすごいね。」と言われてとてもうれしかった。これからも苦手なことも頑張ろうと思う。	【個人】 ・生活科ノート	○振り返りでは、 <u>友達から頑張っているところや成長したところを教えてもらって思ったことを視点から振り返らせることで、自分自身のよさや成長への気づきにつなげる。</u>

※波線はキャリア教育の視点

7 板書計画

あしたへつなぐ 自分たんけん

めあて

友だちのがんばっているところやせいちょうしたことを見つけてつたえ合おう。

《学しゅうのながれ》

1. せい長をふりかえる。

2. 友だちのまきものを読む。

3. 友だちのよいところ

せい長したところを書く。

4. ふりかえり

せい長をまとめたもの

ふりかえり